

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

学会発表や論文公表後は参加を撤回してもデータの修正が困難な場合がありますのでご了承ください。

＜研究課題名＞ 小児の頸部 CT を用いた頸椎椎体前軟部組織の浮腫の厚みの基準値
＜研究機関・研究責任者名＞ 氏 名 森岡 一郎 所属(診療科) 小児科学系小児科学分野（小児科・新生児科） 職名 教授（部長）
＜研究期間＞ 機関の長の初回許可日 ～ 令和 7（西暦 2025）年 12 月 31 日
＜対象となる方＞ 2014 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日に当院で発熱・頸部リンパ節腫大を認め頸部 CT を施行した 0～15 歳の小児が対象となります。
＜研究の目的＞ 小児では、発熱・リンパ節腫大を認め、炎症所見が著明であった際に咽後膿瘍などの深頸部の膿瘍や川崎病などが鑑別になるため、椎体前軟部組織（prevertebral soft tissue: PVST）の膿瘍や浮腫の確認のために頸部 CT を施行することがあります。PVST の小児の正常児の基準値はありますが、発熱および頸部リンパ節腫大を認めた際に PVST の浮腫の有無を確認する明確な基準値はありません。 今回の研究では、発熱・頸部リンパ節腫大を認め頸部 CT を施行した症例の PVST の浮腫における厚みの基準値を作成することを目的とします。
＜研究の方法＞ 頸部 CT 矢状断像で、C1～C7 椎体中央レベルで PVST の厚みを計測します。年齢により PVST の厚みが変化することが知られており、年齢を 0-2 歳、3-6 歳、7-15 歳に分け、PVST 浮腫ありと PVST 浮腫なしについて各年齢で C1～C7 の最適な計測部位を特定します。各年齢の最適な計測部位での PVST のカットオフ値を決定し、感度・特異度を算出します。また、上記と同様に川崎病および深頸部膿瘍における各年齢の PVST の計測の最適部位とカットオフ値を決定し、感度・特異度を算出します。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ CT 画像の他、年齢、性別、疾患名、身体所見、血液検査所見、CT 検査までの発熱日数。
＜研究を実施する機関組織＞ 日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

小児科・新生児科 氏名：青木 亮二

電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2442 (PHS) 8902

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方